

学校運営ビジョン

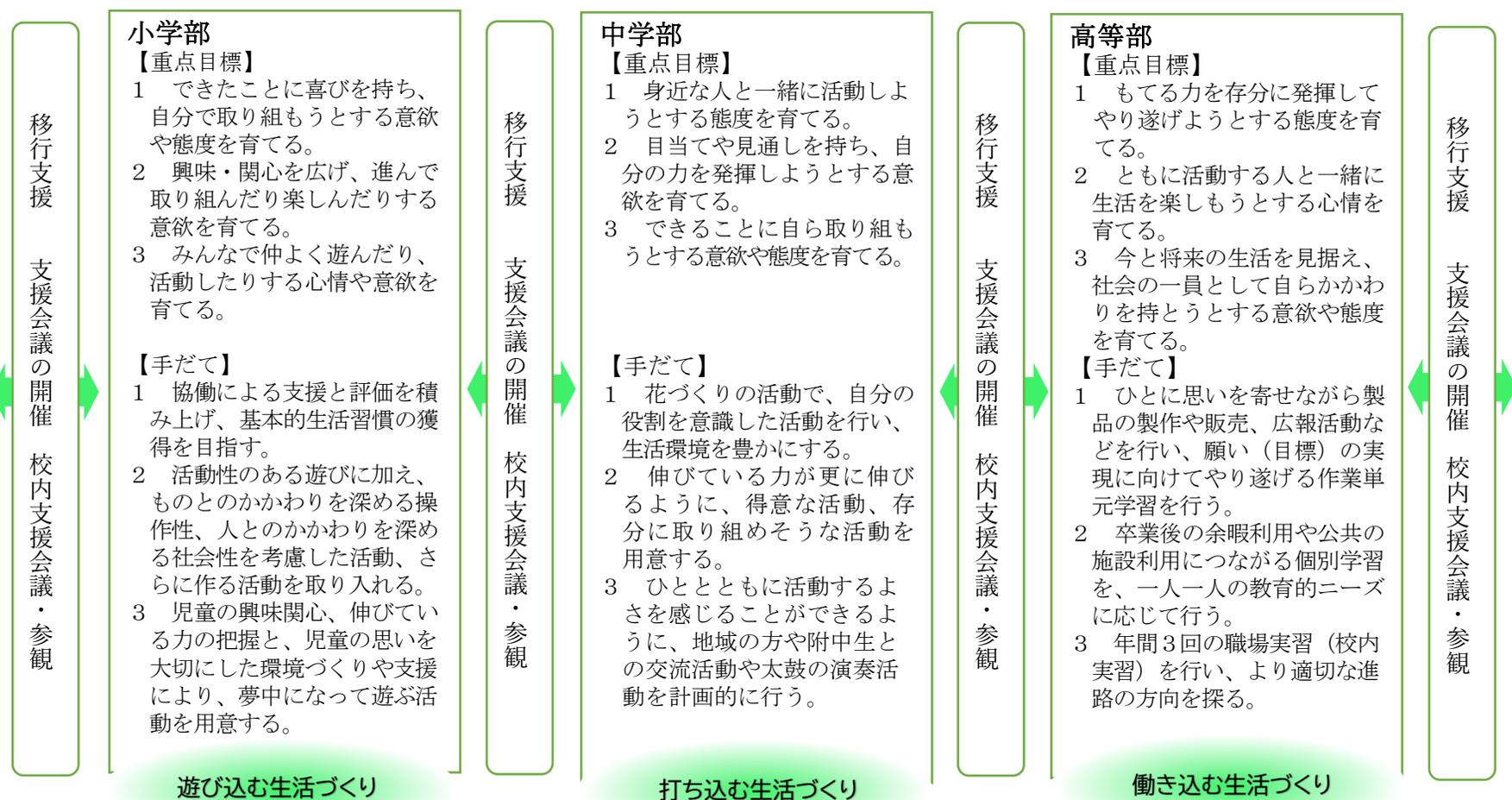
【今年度の重点】

教育目標

自らの力をじゅうぶん発揮し、
主体的に取り組む生活を
今と将来にわたって実現する
児童生徒の育成

- 1 開かれた特別支援学校としての教育の充実
 - (1) 児童生徒理解を基にした子ども主体の生活づくりの充実
 - (2) 学校・家庭・地域の支援者による協働の支援と評価
 - (3) 児童生徒の安心安全の確保
- 2 県内外の特別支援学校・特別支援学級および支援関係機関等への発信
 - (1) 第12期研究の推進（3年次）
 - (2) 「学びのワークショップ」による県内教職員に研修機会の提供
 - (3) 長野3校連携によるキャリア教育の推進
- 3 信州大学教育学部の学生への教育実習の充実
 - (1) 特別支援教育のよさにふれ、専門性を身につける教育実習（行動観察を基にした児童生徒理解と支援、環境調整、実習評価）
- 4 その他
 - (1) 個別の教育支援計画・指導計画の長野県版への完全移行
 - (2) 変形労働時間制（2085時間）に伴う、教材研究の時間の確保
 - (3) 教育環境の改善（暑さ対策、情報端末の活用と家庭との連携）
 - (4) With コロナを見据えた学校行事・PTA活動の再構築

附属特別支援学校の教育



共通理解を基に相互支援

- 1 子どもの思い・願いを大切に教育を、学校・家庭・地域の三者で協力して進める。
- 2 子どもが毎日、目当てと期待をもって送れる生活づくりを目指す。
- 3 子ども一人一人のよさ（個性）を伸ばす教育を進める。
- 4 個別の指導計画を基にした授業の充実と授業改善を進める。
- 5 小学部・中学部・高等部および社会とのつながりを大切に教育を行う。

【改革協議による新たな運営方針】

- 子どもにとって「手ごたえのある学校生活」職員にとって「やりがい溢れる学校生活」を実現する。
- 質を高め、精選を図り、効果的な教育活動につなげるための具体を提案する。
 - ・教育実習
 - ・教育研究推進
 - ・学校運営
 （教材・支援・子どもと向き合う時間の充実、新形式個別の指導計画作成）

【学校評価を運営に生かす】

- 重点目標に対して、成果と課題を明確にする。
 - 〔自己評価〕
- 学校評議員会の開催
- 学校運営委員会（保護者代表と懇談）の開催
- 学校自己評価実施（教師、保護者、地域の支援者、学校評議員）
 - ・評価結果の公表

【関係機関との連携】

- 支援関係諸機関からの提案や助言を支援に生かす。
- 労働・福祉関係機関との連携により、本校のあるべき進路支援、卒後支援の在り方を探る。
- 【教育学部との協働】
- 放課後活動支援事業「げんきクラブ」
- 共同研究の実施
- 教職大学院との連携